

令和5年8月22日

瀬戸内市議会議長

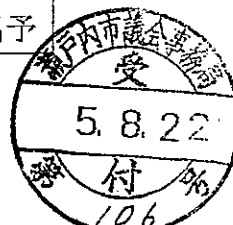
小谷 和志 様

瀬戸内市議会議員 秦井 誠司

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

| | |
|-------------|--|
| 期 間 | 令和5年 8月17日 ~ 令和5年 8月18日 |
| 研修会名 | 公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 令和5年度市町村議会議員研修「自治体予算を考える」 |
| 開催場所 | 全国市町村国際文化研修所 |
| 研修目的・ 内容 | <p>目的；住民の代表として一番身近な存在である地方議会は、まちの財政状況や施策を把握・議論することが、ますます重要となってきた。今回の研修では、行政と共に住民のための予算を作成するにあたり、基本的な知識や視点を身につけることを目的とする。</p> <p>講義① 自治体予算の原則、講師 武庫川女子大学経営学部教授 金崎健太郎氏 自治省(現総務省)入省後、佐賀県財政課長、和歌山市副市長、札幌市財政局長、内閣官房内閣参事官などを歴任された経験を基に予算の原則や編成の流れなどの予算制度を解説いただき、予算書の読み方やその機能を学んだ。</p> <p>講義② 歳入予算の基礎とそのチェックポイント、講師 武庫川女子大学経営学部教授 金崎健太郎氏 自主財源と依存財源、一般財源と特定財源などの歳入予算の基本的な構造や考え方を、予算計上にあたっての留意点などを含めて学んだ。また、歳入予算をチェックする際にポイントとなる事項などについても教えていただいた。</p> <p>講義③ 歳出予算の基礎とそのチェックポイント、講師 武庫川女子大学経営学部教授 金崎健太郎氏 歳出予算の基本的な構造と考え方を解説いただいた。また、歳出予</p> |



| | |
|------------|---|
| | <p>算をチェックする際にポイントとなる事項などについても教えていただいた。</p> <p>演習① グループ討議 各自が問題意識を持つテーマごとに分かれ、グループでの意見交換を行った。</p> <p>講義④ 財政の現状把握～地方公会計の活用～、講師 武庫川女子大学経営学部教授 金崎健太郎氏 健全で持続可能な財政運営のために、自治体財政の診断や分析の手法を学んだ。また、地方財政の適正化・効率化に貢献する地方公会計の基本的事項を教えていただき、地方公会計の活用について学んだ。</p> <p>演習② グループ討議／発表・質疑・まとめ 前日の意見交換の内容を各グループでまとめ、発表や質疑を行うことにより受講者全員で情報を共有し、2日間の研修のまとめとした。</p> |
| <p>所 感</p> | <p>自治体予算の最大の目的は、その年の税金の使い道を決めていくことであると教えていただいたことで、民間企業の会計とは大きく違う仕組みに納得ができた。</p> <p>今の納税者からの収入で、今の納税者に対して還元されるべきとの基本的考えのもとに、単年度で完結する方式をとっていることは、いわば民主主義にふさわしい考え方であると感じた。</p> <p>それと同時に、単年度方式により今の納税者に対する市民サービスが順当であるかという視点を持ちながら、市の将来を見据えた予算の使い方をしていかないと長期発展は望めない。よって目先の事業と長期展望のバランスを見極めていく視点が私たちには必要であると感じたと共に、市民からの声を短期～長期の視点バランスを持って、市政に訴えていくことの重要性を考えさせられた。</p> <p>グループ討議では、他市の状況などを伺うことで、わが市の状況を知ることができた。一例を挙げると、沖縄県那覇市では自市での火葬場が無いことから、周辺市町で火葬することに一週間以上も待つことがあるとのことである。現在は岡山市との共同で火葬場を建設することで歳出を抑え、かつ順序を待つこともなく故人を見送ることができることも大切な市民サービスであると改めて感じる事ができた。</p> <p>今回で得られた内容は基礎的な内容であるので、引き続き研鑽に励み、より良いまちづくりに活かしてまいるところである。</p> |